

人権だより

(令和3年度3月号)

川之石高校人権委員会 担当 2年次2組

今年度の最終号の人権だよりになりました。今月は、2月に実施された1・2年次の人権・同和教育ホームルーム活動の報告と、各クラスの人権委員が今年度の活動を振り返り、それをまとめたものを載せています。

1 人権・同和教育ホームルーム活動報告（1・2年次）

◎ 日 時 令和4年2月18日（金）第6時限

◎ テーマ 1年次 「差別はどのようにしてつくられたか」

2年次 「解放への歩みⅢ～戦後の解放運動～」



1の1

差別がどのように起こり、中世と近世の特徴を学びました。部落差別は江戸時代になって政治的に身分が固定され、制度的に確立されたようです。そのような中でも誇りを持ち立ち向かった人々の存在を知り、私もしっかり考え、正しい行動が起こせるようになりたいと思います。



1の2

一編さんや又四郎さんは中世文化を支えた人なのに、なぜ差別を受けていたのか、渋染一揆はなぜ起こったのかなどについて学習しました。人権委員として、二人のことや渋染一揆について調べてスライドを作り、発表しました。



1の3

人権委員として十分には仕事はできませんでしたが、グループでの話し合いは積極的にできたかなと思います。このホームルーム活動では、重要な建造物である「銀閣」を作った人を「自分とは違う存在」として排除した中世の「社会的差別」があったことを知りました。2年次でも歴史学習を行うので、しっかり正しいことを認識し、差別がない社会にしていきたいです。





2の1

ホームルーム活動の前日までに、何時間もかけて読み合わせやスライドのタイミング合わせなどを行い、当日は進行や司会をしっかりと行うことができました。差別によって文字が奪われたという事実には憤りを感じました。私たちも、差別を許さない、立ち向かっていかないといけないと思いました。



2の2

資料をみんなの前で読みましたが、もっとはきはきと読むことができたらよかったと反省しています。昔、被差別部落には、差別や貧困のために学校に通えず、文字を学ぶ機会を奪われた人たちがいたことや識字学級で文字を学ぶ取組みがあったことも学びました。



2の3

ホームルーム活動の前日まで、しっかり打合せを行いました。当日は、他の友だちも協力してくれてありがたかったです。識字学級について紹介しました。班の意見も、それぞれ代表の人がきちんと言ってくれて、充実した活動になったと思います。

2 人権委員として ～1年間を振り返って～

【1の1】活動準備が大変でしたが、一つひとつのことにちゃんと意味があり、やり終えていくことで充実感もありました。ホームルーム活動では、自分たちが主となる場面もあり、緊張しましたが、良い経験になりました。

【1の2】1年間、楽しく活動することができました。私は、各学期のホームルーム活動と川高祭のユニセフ募金の活動が特に良かったです。人権問題は中学校でも学びましたが、改めて考える機会になったし、募金はこれが世界の子どもたちのために役立つと思うと本当にやって良かったと思ったからです。

【1の3】活動をやっていくうちに、どんどん積極的な気持ちでやれていったと思います。特にホームルーム活動用に動画を撮影し、校内での車椅子に乗った側の目線を担当したときやそれを授業でみんなに観てもらったときは、充実感がありました。

【2の1】活動内容が多い分、得られたものも多く、充実した経験ができて良かったです。ホームルーム活動の司会・進行をやりながら人権意識の向上につながったし、より深く考えることができました。人前に立って話すことにも慣れ、成長できたように思います。

【2の2】私は後期から委員長になりました。前期は先輩が委員会の進行をされているのも「流石だな」と他人ごとのように見えていましたが、いざ自分がそれをする立場になり、いつもドキドキですが、委員会の日には、副委員長と協力して、委員会を行う教室の鍵を開け、委員会がスムーズに行えるよう意識してやれるようになりました。

【2の3】朝の挨拶運動やホームルーム活動など、毎学期、自覚を持って取り組むことができたと思います。本校の代表として、八高での研修会にも参加し、9月には委員会の発表にも携わることができました。大変充実した1年でした。